

# 図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの  
新刊

『えでみる  
あいうえおさくぶん』  
作/ニシワキ タダシ  
出版社/あかね書房  
たてによむことばから、よこによむぶんができています。それが、あいうえおさくぶん。ゆかいな絵と共に、言葉の組み合わせを楽しみましょう！



『うつも肥満も  
腸内細菌に訊け！』  
著/小澤 祥司  
出版社/岩波書店  
脳に働きかけ、さまざまな病気や、食欲、感情や精神にまで関与するのが腸内細菌。その最新の研究成果をわかりやすく解説・紹介しています。



『東京ワイン会ピープル』  
著/樹林 伸  
出版社/文藝春秋

自慢のワインを持ち寄り楽しむ宴。そこは愛と欲望と打算とが渦巻く場でもあった。ワインの魅力と引き寄せられる人々の宿命のドラマを描いた小説です。



『ニッポン放浪記』  
著/ジョン・ネイスン  
訳/前沢 浩子  
出版社/岩波書店

三島由紀夫、大江健三郎から、黒澤明、勝新太郎まで、日本文学黄金時代の40年にわたって、翻訳家、映画監督としてマルチな才能を武器に日本中を駆け回った著者の回想録。



『せつぶんのおに』  
作/常光 徹  
絵/伊藤 秀男  
出版社/童心社

器量よしで、はたらき者のふくが婿をとることになった。山奥の鬼がこれを聞きつけてやってきて、ふくを山へ連れて行ってしまった。となりの兄さんが、鬼の好物の酒を持って、ふくを助けに山へ向かい…。



『西郷どん！』  
原作/林 真理子  
文/吉橋 通夫、絵/勇沢 椰木  
出版社/KADOKAWA

西郷隆盛は、身分の低い武士の家に生まれた。しかし、学問にはげみ、運命的な出会いから、西郷の人生は動きはじめる…。江戸幕府を倒し、新しい国を作った英雄の物語。2018大河ドラマ原作「西郷どん！」を児童文庫化。



## 図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	11日(日)、18日(日)、25日(日) 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	14日(水) 午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」(COLAS平戸ホール)「アヒルと鴨のコインロッカー」(日本:110分)	10日(土)・22日(木) 午後2時～
	ライブラリーコンサート(COLAS平戸ホール)山口優実さんによる「癒しのピアノ・ミニコンサート」やさしく奏でられるピアノの音色をお楽しみ下さい。(予定)	24日(土) 午後7時～
永田記念図書館	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	3日(土)・10日(土)・24日(土) 午後2時～

今月の休館日 永田記念図書館：6日(水)、13日(火)～17日(土)、20日(火)、25日(日)、27日(火)

## 各図書館・図書室連絡先

平戸図書館 ☎22-4017  
永田記念図書館 ☎28-0128  
南部公民館図書室 ☎27-0047  
生月支所図書室 ☎53-2111  
田平町中央公民館図書室 ☎57-0207  
大島村公民館図書室 ☎55-2511

※図書館よりお知らせ  
蔵書点検作業のため、市内の図書館で以下の通り、休館します。返却ポストはご利用頂けます。ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひ致します。  
★平戸図書館 2月1日(木)～8日(木)  
★永田記念図書館 2月13日(火)～17日(土)  
★生月図書室 2月21日(水)

各地域の食生活改善推進員が紹介します！ 11

## 今月のレシピ

問 保健センター健康づくり推進班 ☎57-0977

### 『フライパンで簡単大学芋』

#### 【材料(4人分)】

サツマイモ・・・250g 砂糖・・・大さじ3  
サラダ油・・・大さじ5 黒ごま・・・少々

#### 【作り方】

- 1 サツマイモは洗って泥を落とし、フライドポテトのようなスティック状に切り、10分くらい水にさらす。
- 2 サツマイモの水気をよく切る。
- 3 フライパンにサラダ油を入れ火にかけ、サツマイモを入れて揚げ焼きする。
- 4 火が通ったら余分な油をキッチンペーパーで拭き取り、砂糖と黒ごまを絡ませる。

#### 【栄養(1人分)】

●カロリー137kcal ●食塩相当量0g



### 食物繊維だけではない サツマイモの栄養！

サツマイモに含まれるビタミンCは、煮たり焼いたりしても約7割が残ります。多くの食物は調理による熱でビタミンCを減少させますが、サツマイモは比較的多くの栄養を残し、おいしくいただくことができます。



中部支部 岩崎 ヨ子 さん  
むつば会 よね ヨ子 さん

## 獅子の「石積みのある風景(獅子町)」

問 文化交流課文化遺産班 ☎内線2278

獅子集落は、平戸島西海岸に位置する人口378人(182世帯)の集落です。戦国時代にはキリシタン領主となった籠手田氏の所領であったため、多くのキリシタンがいたことが当時の宣教師の手紙に書かれています。

高台一面に広がる美しい棚田や、なだらかな斜面上に分布する木造家屋群と石積みのある風景は、平成22年2月に県内で初めて国の重要文化的景観に選定されました。集落のいたるところにみられる石積みは、先人がひとつひとつ積んできた歴史を物語るとともに、その地域の個性として来訪者にとって魅力的な地域資源のひとつにもなっています。

獅子の石積みの話をしてくれた松山矢市さんは、高校を卒業して消防

団に入ってすぐに建物の石積みを造ることがあり、その時に石の積み方を教えてもらったと言います。コンクリートを使わずに石を積んでいくためのコツも教わったそうで「石積みの表面をきれいにさせることより、多少不ぞろいであっても石の重心を考えて据え、ひとつの石の周囲を複数の石がかみ合うように積んでいくと崩れにくい」と話してくれました。上手な人が積んだ石積みは、小さな石で積んだものでも崩れていないと言います。

近年、コンクリート製のブロックなども増えてきましたが、これらの石積みや防風林などは、地域で築き上げてきた歴史や文化を物語る遺産であるとともに、来訪者との交流をつなぐ地域の大切な宝物です。

## 私のまちの 宝探し

このコーナーでは、地域に眠る小さな宝を紹介いたします。

vol.11



獅子集落の石積みのある風景



まつやま やいし  
松山 矢市さん  
獅子町